



System Answer G3 + CX監視オプション ご紹介

アイビーシー株式会社
ビジネスソリューション営業本部



● 会社概要



VISION

IT 活用で永続的に成長し、 事業・社会へ貢献する

MISSION

IT 障害をゼロにする

～ MISSION に込めた思い ～

障害発生時におけるスピーディな状況判断の支援はもちろん、システムの稼働状況を正確に把握し、**障害を回避するためのソリューション・サービスの提供に注力**し、事業活動を推進していきます。

■ イメージキャラクター：小泉今日子



社名	アイビーシー株式会社 IBC : Internetworking & Broadband Consulting Co.,Ltd.
所在地	【本社】 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル8F 【西日本事業所】 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル3F
上場区分	東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：3920）
設立	2002年10月16日
資本金	443,230千円 (2023年9月30日現在)
代表者	代表取締役 加藤 裕之
事業内容	1) IT システム性能監視ツールの開発 / 販売 / サポート 2) IT システムの性能評価サービス 3) IT システムの設計・構築、コンサルティング 4) IoT 電子証明セキュリティ基盤の開発 / 提供 5) 各種機器、ソフト販売



● Solution map 一覽



□ …本日ご紹介するソリューション

PRODUCT

※ 障害予防対策監視

System Answer® G3

提供形態 ソフトウェア | アプライアンス | クラウド

マルチテナント対応モデル

System Answer® G3 -XC (Xconnect)

オプション

将来予測オプション システムの未来を分析

APIオプション グラフレポート出力

CX監視オプション 通信経路・品質可視化

LOG OPTION 統合ログ管理

Stats Option カスタマイズレポート出力

セキュリティ対策

CROWDSTRIKE
クラウド型エンドポイント保護プラットフォーム

tenable
脆弱性管理 (クラウド)

ISM CloudOne
エンドポイントセキュリティ管理 (クラウド)

攻撃遮断くん
WAF (クラウド)

Waf Charm
WAF自動運用 (クラウド)

通信品質解析

Progress® Flowmon
ネットワークフロー解析

※ 外部レスポンス解析

今日のレスポンス
サービス品質計測 (クラウド)

デジタル証明書

digicert®
SSL証明書

※ IoTセキュリティ

kusabi
電子証明 / デバイスプロビジョニング基盤サービス

運用改善・効率化・省力化

Kompira
運用自動化

Net LineDancer
統合コンフィグ管理

SERVICE

※ 性能アセスメント

IBC-PAS
問題原因の特定、解決策の提案

※ セキュリティアセスメント

IBC-SAS
企業のセキュリティ課題に応じたアセスメント

- 脆弱性診断サービス
- Palo Alto アセスメントサービス

※ インテグレーション

マルチベンダ対応で小規模・大規模、高信頼・高可用なインフラ環境を構築

ネットワーク

- LAN / WAN構築
- 無線LAN構築
- ネットワークセキュリティ構築

サーバー

- 仮想基盤
- VDI
- NAS
- ウイルス対策
- バックアップ

クラウド (AWS / Azure)

- 仮想アプライアンス設置
- AD移行
- ファイルサーバ移行

※ 運用アウトソーシング

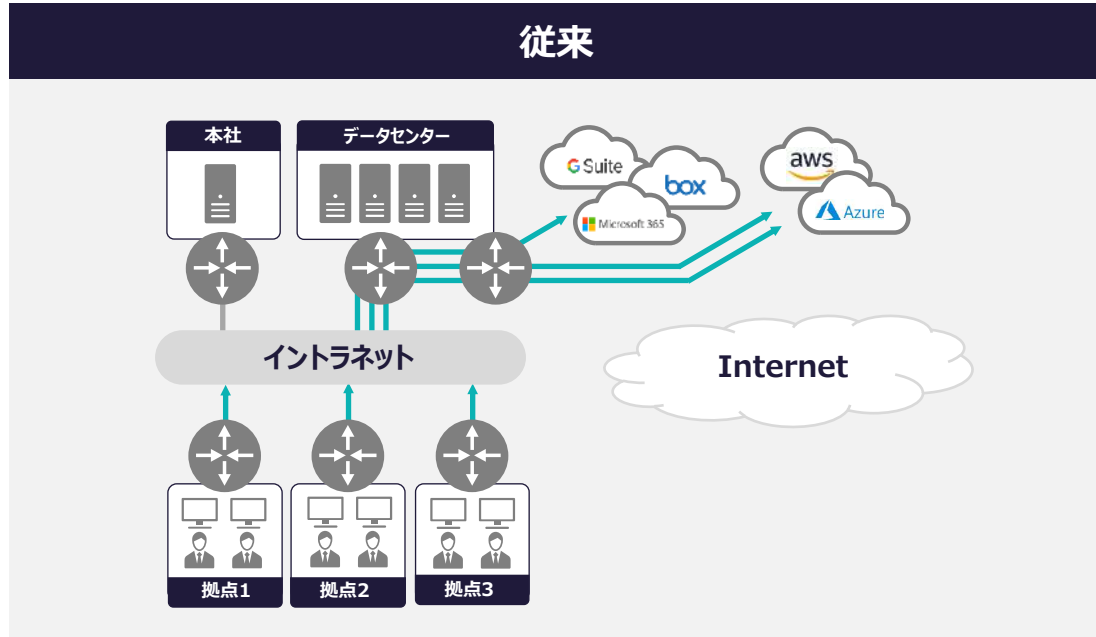
SAMS
20年間の運用ノウハウを生かしたシステム安定稼働に向けた安心・安全な運用サービス

ネットワーク | サーバー | UTM | クラウド環境 | Wi-Fi | IT管理製品 | ヘルプデスクサービス全般

はじめに

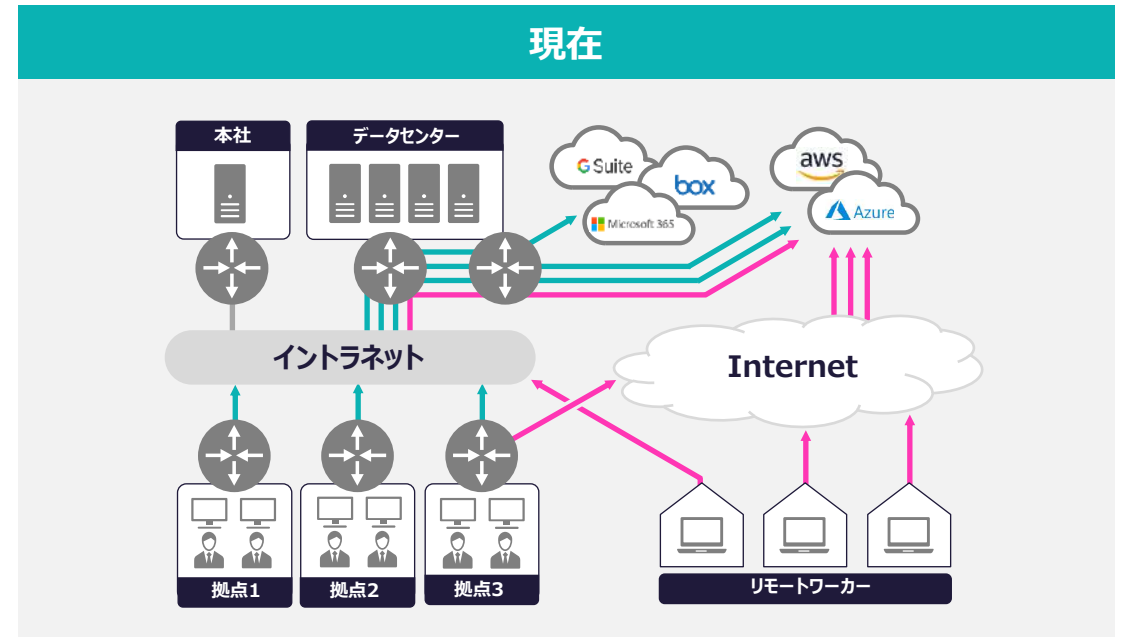
● ICT システムを取り巻く環境の変化と課題

ワークスタイル変革・コロナ禍における企業内コミュニケーション手段の変化に伴い企業のネットワーク環境が大きく変化しています。



課題

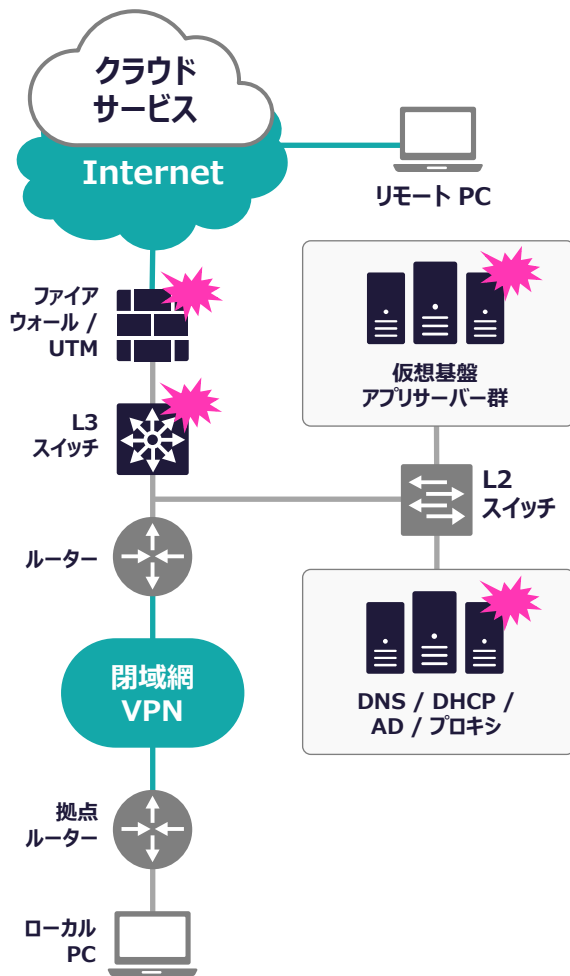
- ◆ Microsoft 365、box、G suite 利用時の通信レスポンスが遅い
- ◆ AWS、Azure 利用時の通信レスポンスが遅い
- ◆ Web 会議利用時の音声や画面表示が不安定



要求事項

- ① インフラ環境（ネットワーク、クラウド、サーバーなど）の稼働状況やパフォーマンスの見える化による課題の把握と対策を実施したい。
- ② End to End での通信遅延状況を可視化したい。

● 要求① インフラパフォーマンスを把握したい



リモートアクセスやクラウド利用が増えてから通信が遅い・途切れる



特定の時間帯に
不安定になる

オンライン会議のみ
調子が悪い

クラウドサービスの
応答が遅くなる

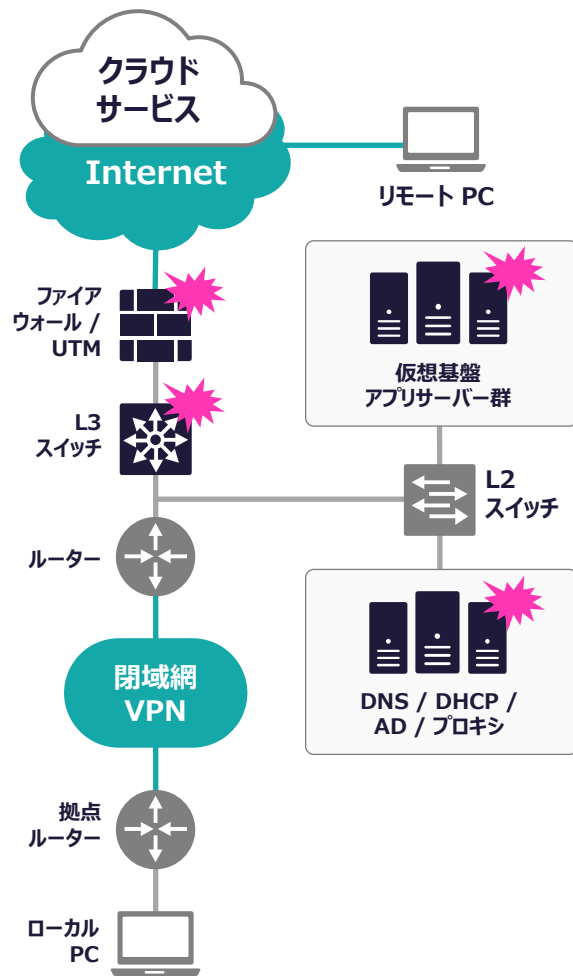


サーバーやネットワークは稼働しているのになぜ？

例えば

- 想定していなかったアクセス需要によるインフラリソースの逼迫
- 応答性能劣化（リソースの消耗）による遅延の連鎖

● 要求① インフラパフォーマンスを把握したい



設計時性能	用途需要	端末数 社員数	アプリケーション	サービス
	環境性能	品質	回線帯域	遅延
機器性能	CPU 負荷 メモリー使用率	セッション数	フロー数	処理遅延
	機器機能	破棄パケット	トラフィック	ルーティング

日々の運用でモニタリング、分析することが重要

● 要求② End to End での通信遅延を可視化したい

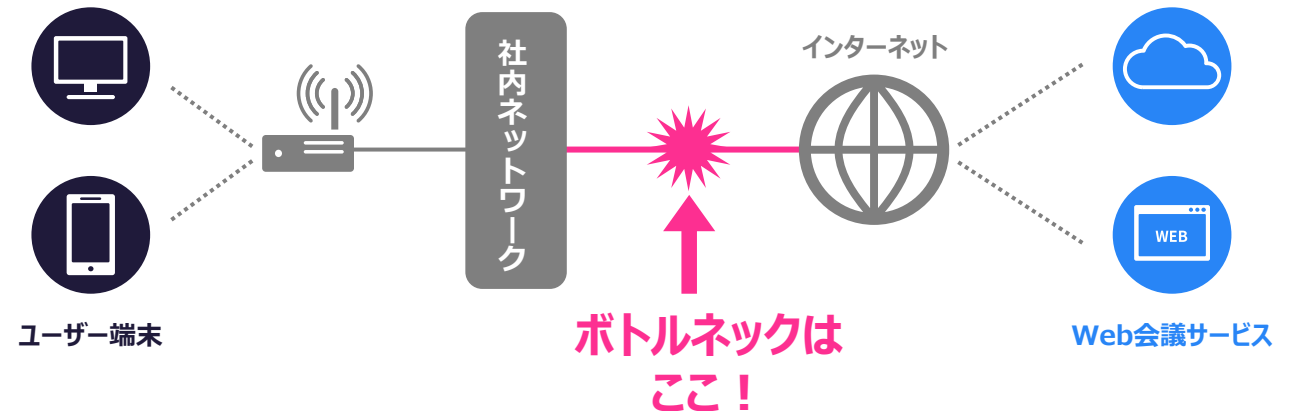
Customer Experience(CX/顧客体感)を明らかにし、
ネットワークトラブルにおける原因切り分けのための情報を提供

システムは社内から社外ネットワークへと広がり、ユーザーと提供サービスの接点におけるデジタル体感（CX）の重要性が高まっています。

CX監視オプション

あらゆるネットワークのWebアクセス状況を可視化し、
ボトルネック個所発見のための情報を提供します。

ボトルネック個所を明らかにすることで、解決できる課題
かどうかの判断、解決に向けて何をすべきかの判断を
促します。



● 従来の課題を解決し、あるべき運用のPDCAを実現



判断・アクション

IBC-PAS

IT システムの性能監視に長年携わってきた経験豊富なエンジニアによる分析を行い、お客様の IT インフラの安定稼働実現をご支援

SAMS

「障害を発生させないインフラ環境」を目指す24時間365日有人監視サービス

モニタリング・可視化・分析

System Answer® G3

- ◆時代と共に進化・複雑化するお客様のインフラ環境をエージェントレスで一元的に監視可能
- ◆稼働状況の見える化のみならず、分析機能を利用し障害予防の実現に貢献

CX監視オプション

- ◆あらゆるネットワークのWebアクセス状況を可視化し、ボトルネック個所発見のための情報を提供
- ◆ボトルネックを明らかにすることで、解決に向けて何をすべきかの判断を促進

その他

IBC-Integration

- ◆20年間培った性能分析、運用のノウハウを生かし、マルチベンダーの機器特性を熟知した専門エンジニアが提供するインテグレーションサービス
- ◆小規模から大規模まで、高信頼・高可用なネットワーク及びクラウドを設計・構築

System Answer G3 ご紹介

● System Answer G3 とは

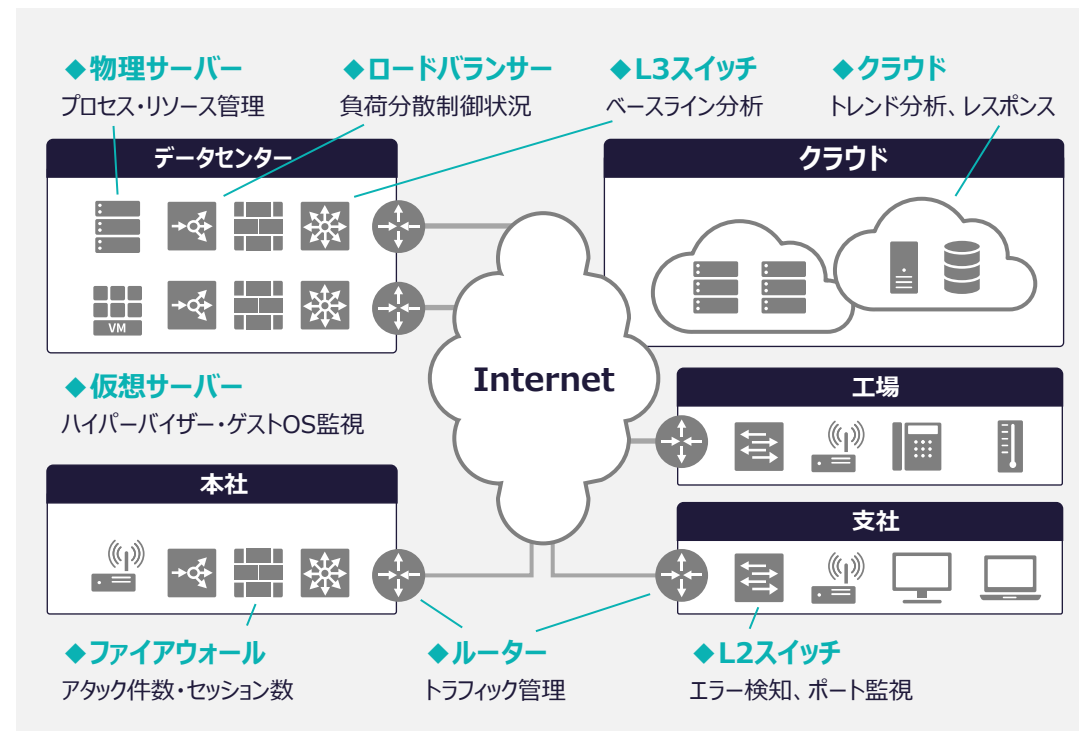


- ・時代と共に進化・複雑化するお客様のインフラ環境を一元的に監視可能
- ・稼働状況の「見える化」のみならず、分析機能を利用し「障害予防」の実現に貢献

～ 多様な監視方法 ～

SNMP 監視	レスポンス監視
アプリ監視	ステータス監視
起動監視	Script 監視
API 監視	VMware 監視
WMI 監視	クラウド 監視
Web シナリオ監視	IPMI 監視

～ 柔軟な通知連携 ～



System Answer® G3

提供形態 ▶ ソフトウェア | アプライアンス | クラウド

● 監視可能範囲

プライベートMIBのテンプレート機能で詳細情報の取得が容易に可能
 現在**133社のベンダー**に標準対応



スイッチ・ルーター

- APRESIA Systems
- Alaxala
- Alcatel Lucent
- Allied Telesis
- Cisco Systems
- Fujitsu
- Hp
- Juniper Networks



ロードバランサー

- A10 Networks
- Citrix
- Fujitsu
- F5 Networks
- Nortel



ファイアーウォール

- CheckPoint
- Cisco Systems
- Fortinet
- Juniper Networks
- Palo Alto Networks
- MacAfee



無線AP

- Aruba Networks
- Cisco Systems
- GoNet Systems
- ICOM
- Rucks Wireless
- Symbol

オンプレ

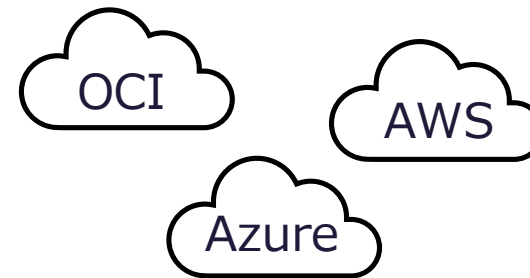
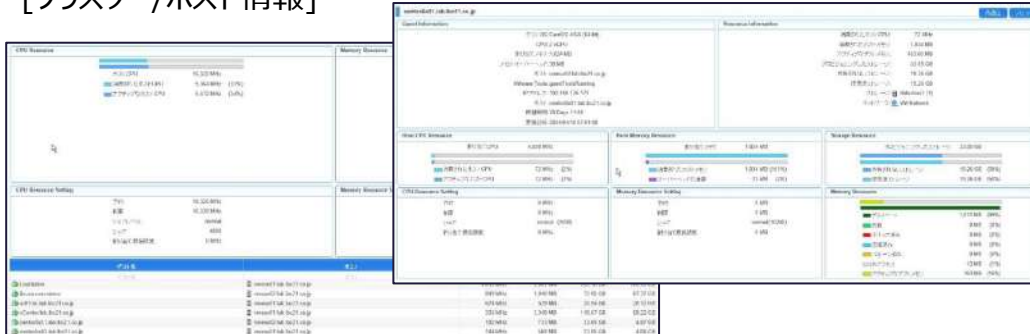
仮想基盤 クラウド

Vsphere API情報のテンプレート機能で
仮想基盤環境の詳細情報の取得が容易に可能

クラウド基盤のAPI情報のテンプレート機能で
クラウド環境の詳細情報の取得が容易に可能

[クラスター/ホスト情報]

[ゲストOS情報]



監視項目例(AWS)

【EC2】



- CPU Utilization
- Disk IO Count
- Network IO Size
- Status Check Failed

【EBS】



- Volume IO Count
- Volume IO Size
- Volume Queue Length
- Volume Throughput Percentage

● 分析に用いる詳細な情報

運用監視ツールの活用にあたり、分析のためのデータはより詳細である必要があります。

System Answer G3 は「1 分間隔」で監視・データ取得し、「最大 5 年間・非圧縮」で保存します。

1 分間隔での情報取得が必要な理由



1 分間隔で変化に気づける

5 分や 10 分間隔では検知できない突発的な事象を捉えることが可能。



将来予測などの高精度な分析の実現

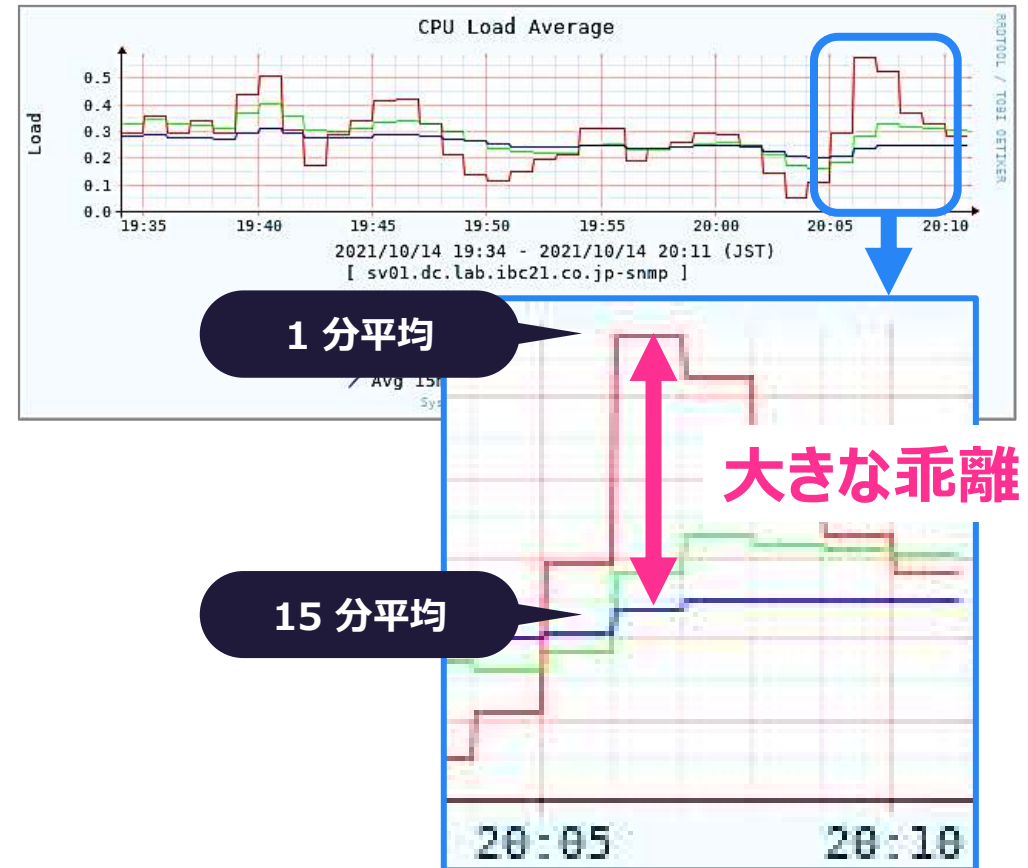
過去の詳細データを基に分析を行うことで、精度の高い分析をおこない、予防保守・予兆検知につなげる。

5 年間・非圧縮での保存が必要な理由



長期的な傾向を正確に把握

過去データが平均化されたり、一定期間経過したデータが削除されるツールやサービスでは、長期間の分析への活用は困難。



● System Answer G3の「3つの強み」



1

検知から予防へ



「障害を未然に防ぎたい」というお客様の思いを、**分析機能**で支援

一般的な監視システムは、異常の発生を**検知**し、調査や原因分析を行い、障害の迅速な対応を図る役割です。System Answer では、監視で得た情報を自動分析することで「**将来予測**」を行い、障害を**予防**するための機能を実装しています。

2

安定稼働を促進



問題のスピーディな解決と根本原因究明により、**再発防止対策**に貢献

System Answer には、IBCが20年間培った性能分析ノウハウを機能化した「**トラブルシューティングアシスタント**」が備わっており、お客様の障害復旧対応をサポートします。また、「**ダイナミックブックマーク（相関分析）**」をご活用いただくことで、潜在的な障害リスクの把握とその早期対策を実現します。

3

カスタマーサクセス



「要望の製品化」や「運用課題を解決するサービス」を通し、**安心と満足**をご提供

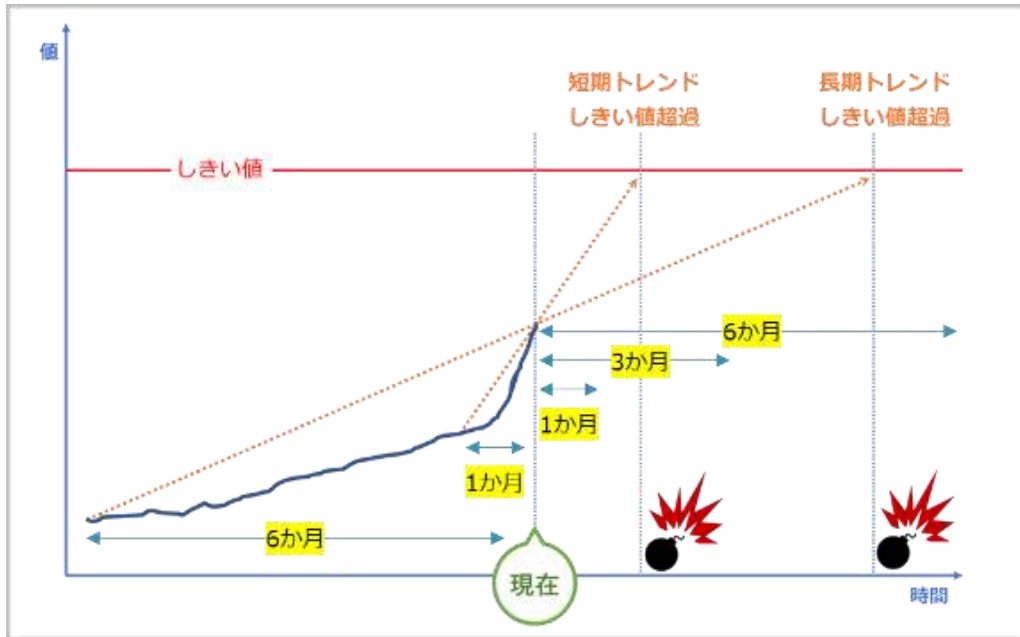
運用現場で「**本当に役立つ**」製品の開発を迫及することが我々の誇りであり、プライドです。System Answer の**利活用**支援はもちろんのこと、お客様のシステム運用課題を解決する付加価値サービスをワンストップで提供しています。お客様に寄り添ったサービスを通し、システム運用業務の「成功」をサポートします。

● 提供価値を「検知」から「予防」へ

収集した過去データをもとに様々な自動分析を実施。通常の監視では気づくことのできない障害の予兆やキャパシティ管理を実現します。

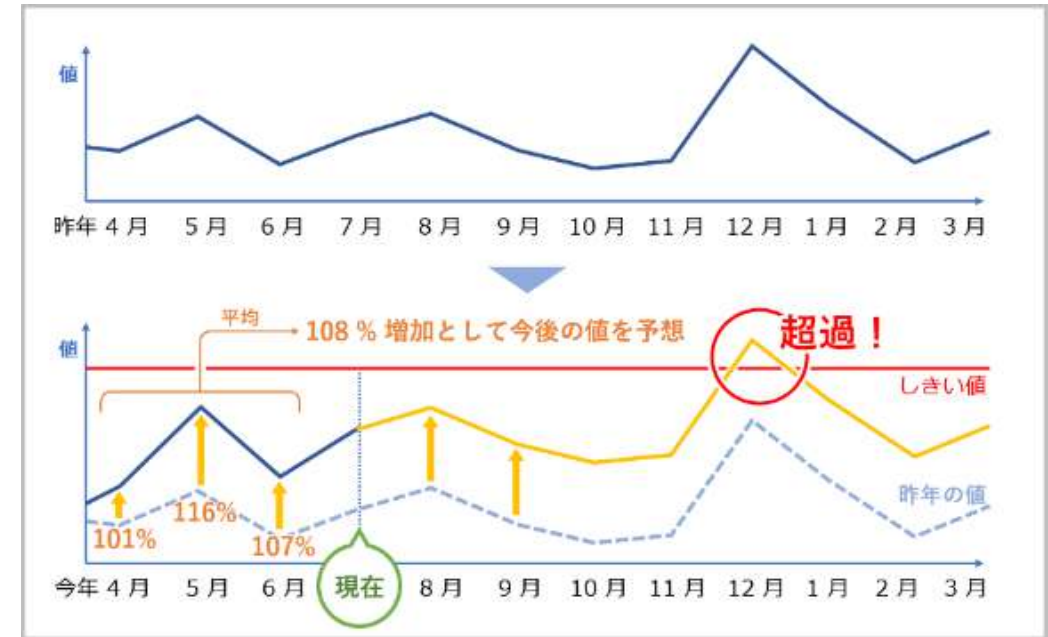
キャパシティ予知

将来、リソースが最大値やしきい値を超える状況を検知し、アラート通知をします。



昨対比較

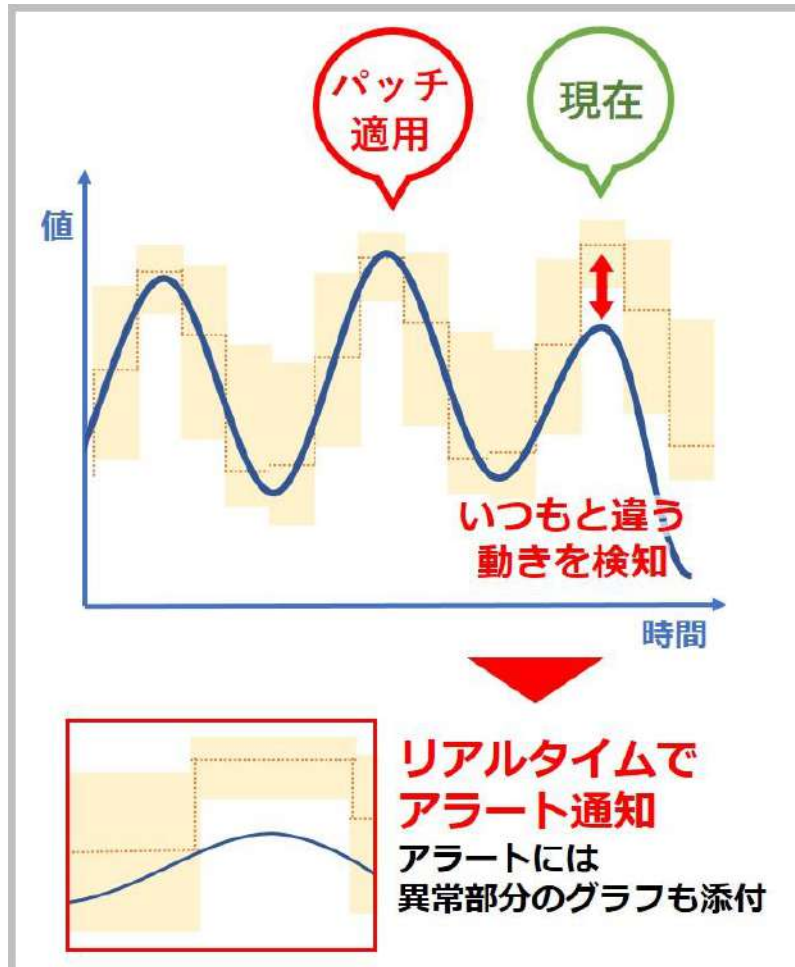
昨年の実績値と今年の経過月の昨対平均倍率を算出し、予測値を算出します。この予測値がしきい値を超過する際に、アラートを通知します。



System Answer G3 を最大限活用し、リアルタイム分析を行い、運用の質を向上します

● 変動検知 – 機能概要

設定変更や本番リリースは人ではなく **System Answer G3** が立ち会います！



過去の性能データから周期性がある傾向を自動学習し、ベースラインを作成します。

このベースラインから外れたイベントを自動的に検知し、異常変動としてアラートを通知します。

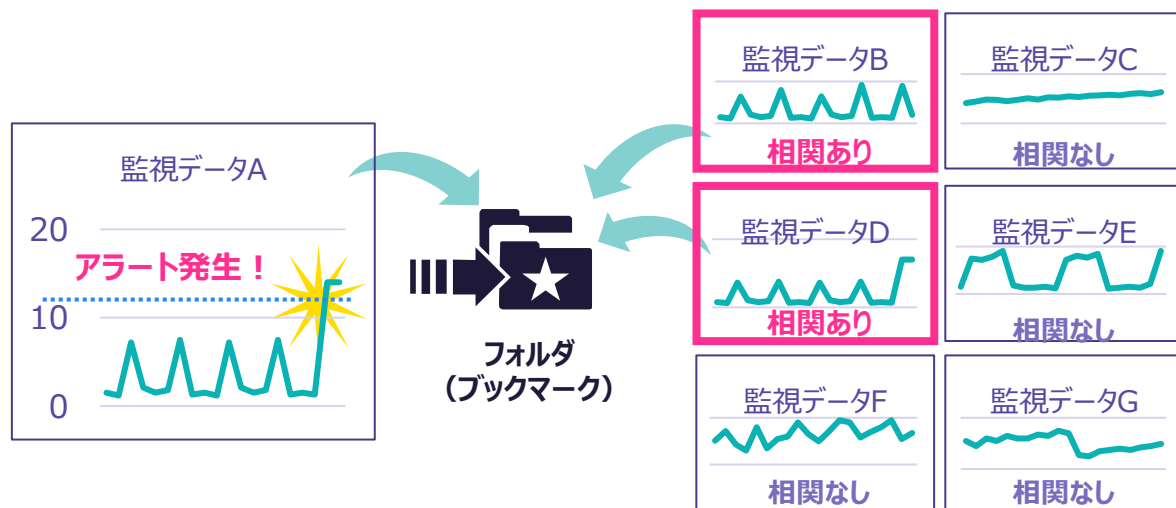
- ◆ 平常時の状態把握、曜日や時間帯、イベントやキャンペーンによる突発的なリソース変化を予測することができます。
- ◆ ベースラインとしての学習対象から除外する曜日・日付（休日など）を、カレンダーから任意に設定可能です。
- ◆ 異常をアラートとして検知させない曜日・日付も、カレンダーから任意に設定可能です。
- ◆ アラートには異常部分のグラフが添付され、どのようにいつもと違う動きをしたのかを確認することができます。

● 障害の早期復旧を実現する機能

ダイナミックブックマーク（相関分析）

アラートが発生したデータソースと相関の高いデータソースを自動でブックマークに紐づけて表示する

従来は気づきにくかった、アラートとは別の箇所に根本原因があった場合の原因特定を素早くおこなえるようになります。



トラブルシューティングアシスタント

トラブルの原因の候補提示から原因の絞り込みまで、System Answer G3 がサポートしてくれる

アイビージーが長年蓄積してきたトラブルシューティングのノウハウを G3 の画面上でいつでも参照することができます。



● カスタマーサクセス

国内開発メーカーが提供するサポートサービスで、
カスタマーサクセスを実現します。



私たちIBCは、開発～販売・サポートまで国内で一貫して行っている強みを活かし、スピーディーかつ丁寧なサポートをご提供しております。
日本品質の追及こそ、私たちの強みです。



各種お問合せ

開発～販売まで一貫して行っておりますので、製品仕様から操作方法・提案まで、担当技術者がその場で丁寧にサポートいたします。

受付方法：電話またはメール

受付時間：平日9：30～12：00ならびに13：00～17：30

(土・日・祝祭日、年末年始、当社が定める休日を除く)



バージョンアップ

年数回のソフトウェアバージョンアップがあります。

(指定アドレスへメールにて通知)

バージョンアップには、機能追加・各種テンプレートの追加等もあります。

【リリース情報詳細】

https://systemanswer.com/category/software_update/

● System Answer G3 差別化ポイント (他社製品比較)



差別化ポイント

System Answer G3 の カバー範囲

お客様が運用監視に求めている事項

障害予防

根本対策

問題特定

原因分析

保守対応

障害検知

一般的な監視製品

死活監視
(ping)

性能監視
モニタリング

しきい値
監視

性能分析
分析・解析

相関分析

傾向分析

変動検知

将来予測

レポート

監視運用内容

● System Answer シリーズ 導入実績



公務

公益財団法人仙台市市民文化事業団
(せんだいメディアテーク)
千代田区役所
東京都日野市
栃木県 宇都宮市

教育・学習

大阪国際大学 大阪国際大学短期大学部
学校法人 片柳学園
学校法人 東京音楽大学
白百合女子大学
日本大学 文理学部
明治学院大学

サービス

エン・ジャパン株式会社
オズ・パーク株式会社
株式会社サイバーコネクトツー
セガサミーホールディングス株式会社

建設・不動産

小田急不動産株式会社
株式会社熊谷組
鉄建建設株式会社
株式会社東急コミュニティー

製造

株式会社エクセディ
株式会社荏原製作所
株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
株式会社JSP
JXアイティソリューション株式会社
積水化成成品工業株式会社
株式会社タツノ
株式会社寺岡精工
株式会社東光高岳
トヨタ自動車九州株式会社
日本電子株式会社
日本農産工業株式会社
ファイテン株式会社
ブリヂストンソフトウェア株式会社
マツダ株式会社
三菱重工業株式会社
三菱パワー株式会社
あすか製薬ホールディングス株式会社

卸売・小売

稲畑産業株式会社
生活協同組合連合会 コープきんき事業連合
ブックオフコーポレーション株式会社
株式会社ムサン
株式会社ローソン

金融・保険

auカブコム証券株式会社
岡三情報システム株式会社
外貨ex byGMO株式会社
GMOフィナンシャルホールディングス株式会社
株式会社東京証券取引所

運輸

国際興業株式会社

医療

静岡県立総合病院
株式会社 メディカル東友

情報通信

株式会社IDCフロンティア
株式会社アイネット
株式会社石川コンピュータ・センター
株式会社イルグルム
株式会社インターネットイニシアティブ
株式会社インフォメーション・ディベロップメント
株式会社駅探
株式会社NSD
NTTコムウェア株式会社
株式会社NTTトラベルサービス
オムロンフィールドエンジニアリング株式会社
株式会社キューブシステム
グリー株式会社
KDDI株式会社
ケーブルテレビ株式会社
コアネットインタナショナル株式会社
株式会社光文社
株式会社 J E C C

株式会社ジupiterテレコム
ソニーグローバルマニュファクチャリング &
オペレーションズ株式会社
TIS株式会社
株式会社電算
株式会社東京商工リサーチ
東芝クライアントソリューション株式会社
凸版印刷株式会社
日本ネットワーク・エンジニアリング株式会社
株式会社ネットワークバリューコンポネッツ
株式会社野村総合研究所
株式会社光通信
株式会社日立システムズ
株式会社ベネッセインフォシエル
株式会社メディカル・プリンシプル社
ヤマトシステム開発株式会社
株式会社ラック
at+link (株式会社リンク)

導入実績 2,000社以上

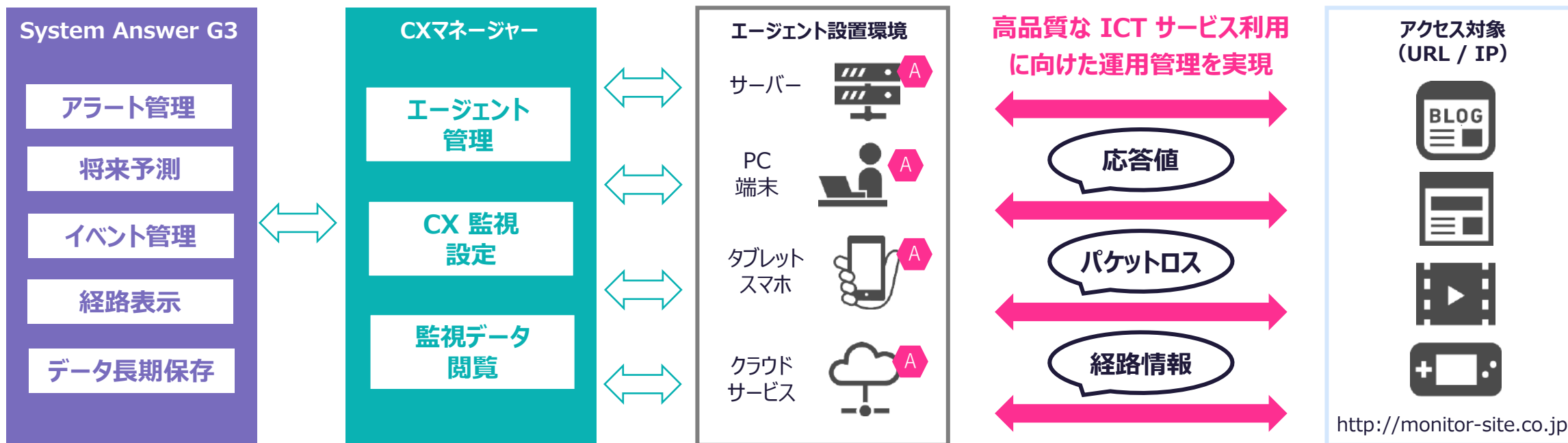
導入事例掲載サイト :

<https://system-answer.com/case/>

CX監視オプション ご紹介

● CX監視オプション 機能概要

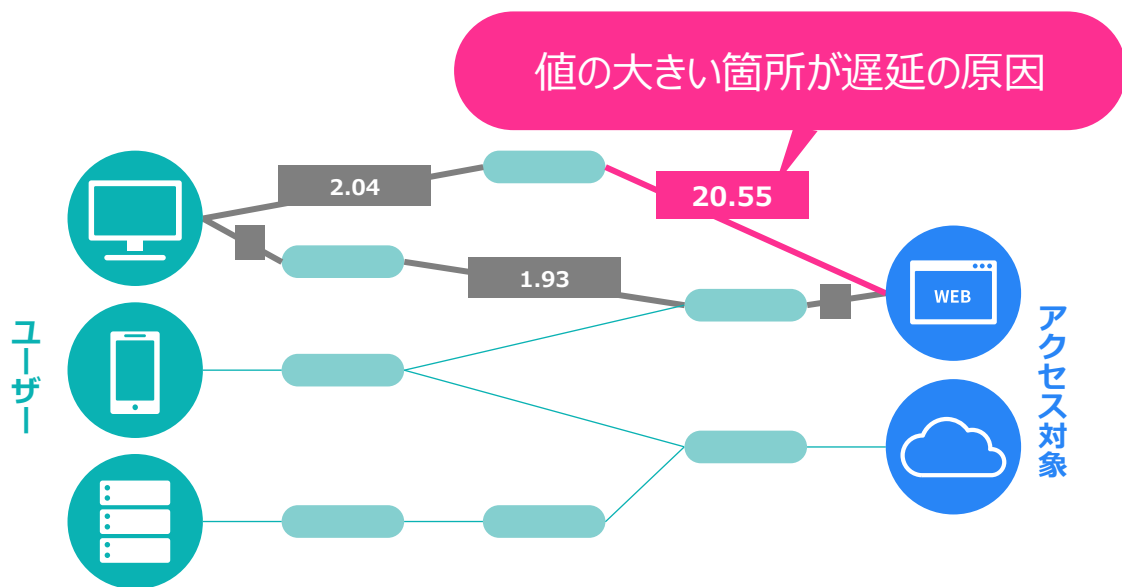
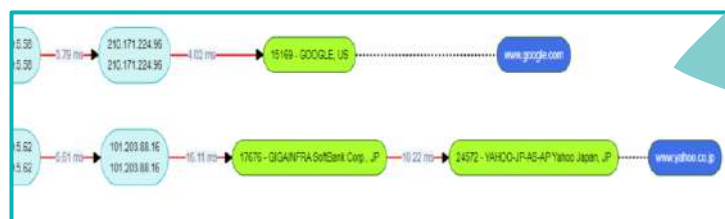
System Answer G3 に CX 監視オプションを加えることで
通信経路・品質を可視化し、利用者視点でのネットワーク品質を見える化



※エージェントはサーバー向けからリリースし、順次リリース予定となります。

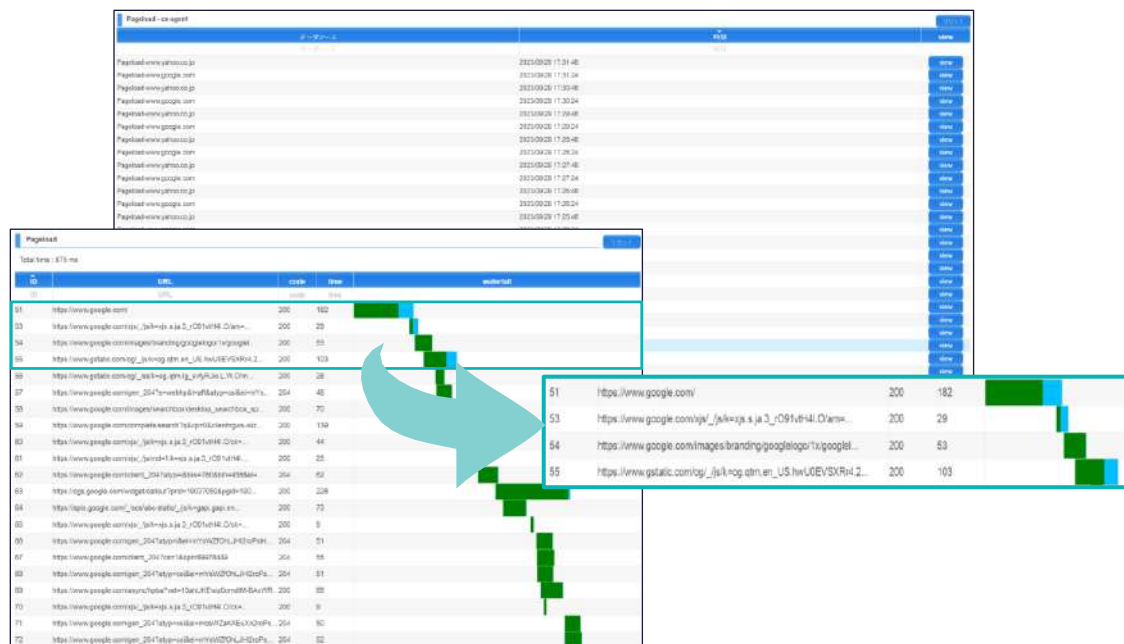
ネットワークパス表示機能

監視元となるエージェントから監視先までのネットワークパスを、経路上のホップ毎の IP アドレスや応答値といった情報の他、パケットロス、ジッターなど詳細な情報と共に表示します。
また、測定された内容が前回値と比較し大きくかい離する場合に警告をおこなうなど、利用者に認識しやすい、わかりやすい機能を提供します。

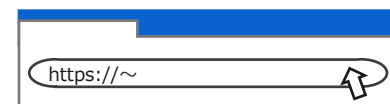


ページロード機能

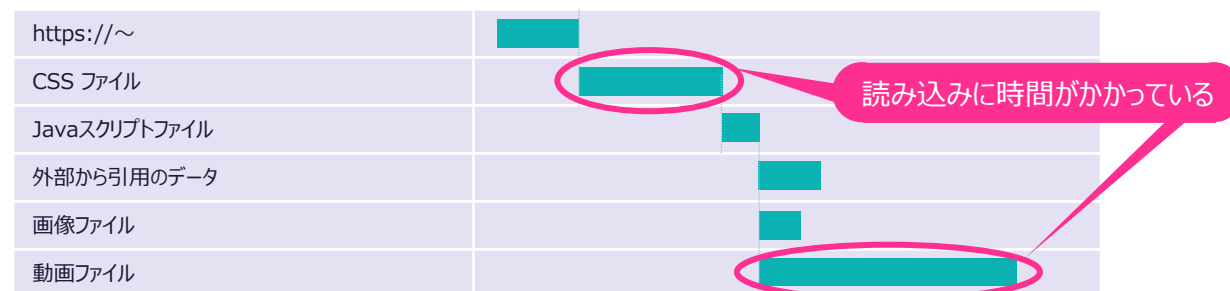
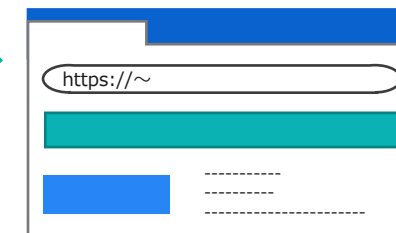
ブラウザのように指定したページのドキュメントやコンテンツをすべてダウンロードし、各コンテンツのダウンロードまでの応答速度をチェックします。Webサイトの遅延状況をコンテンツ毎に確認が可能であるため、特定画像の容量が大きい、CDN（コンテンツデリバリーネットワーク）が特定時間帯で遅いなどの検証、確認が可能となります。また、クライアント環境から実行することでユーザーの体感値をそのまま数値化し改善が可能であるため、早期原因特定、CX（カスタマーエクスペリエンス）向上につながります。



URL 入力

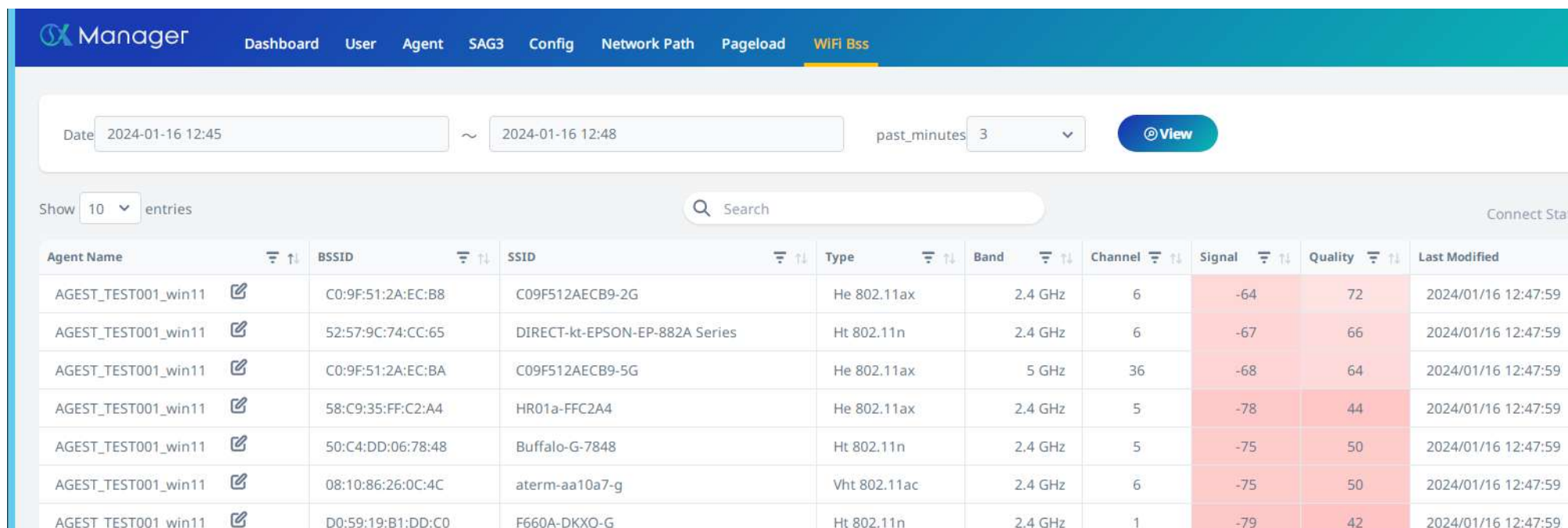


Web ページ表示



無線受信状況モニタリング(Widowsエージェント)

Windowsエージェントを導入した端末では、WiFiの受信状況をモニタリング可能です。
接続しているSSIDだけでなく、情報アップロードのタイミングで端末が受信しているSSIDの情報を確認できます。
これにより、PC端末を利用しているユーザーが接続して欲しいSSIDの電波強度が実は弱くないかや、いわゆるノラSSIDの影響度を調査できます。

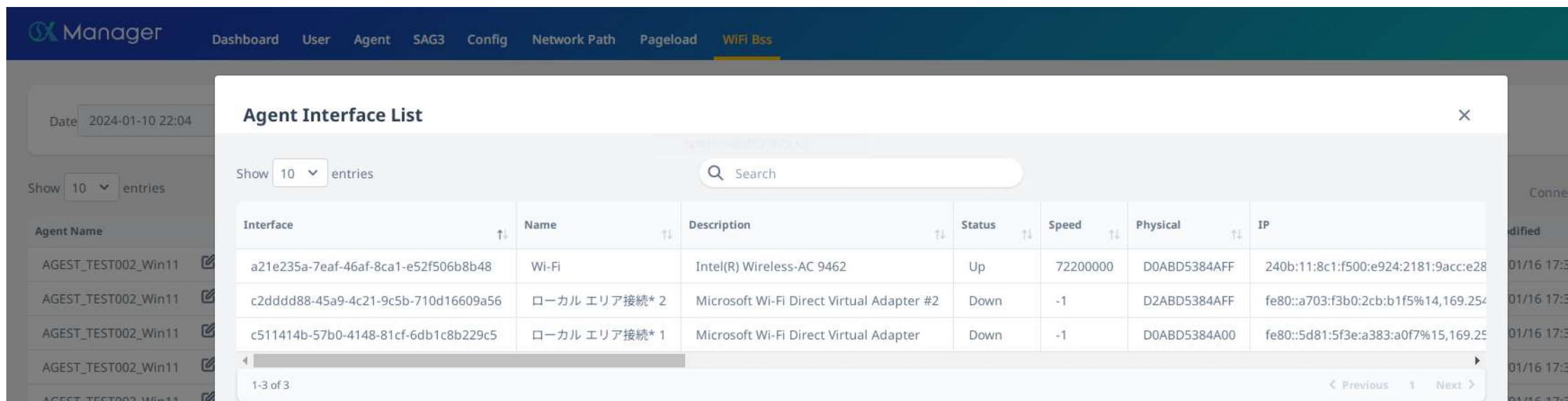


The screenshot shows the CX Manager interface for monitoring WiFi BSS. The top navigation bar includes 'Dashboard', 'User', 'Agent', 'SAG3', 'Config', 'Network Path', 'Pageload', and 'WiFi Bss'. The main content area has a date range filter set to '2024-01-16 12:45' to '2024-01-16 12:48' and a 'past_minutes' dropdown set to '3'. Below this is a search bar and a table of detected WiFi BSS entries. The table has columns for Agent Name, BSSID, SSID, Type, Band, Channel, Signal, Quality, and Last Modified. The Signal and Quality columns are highlighted in red to indicate low signal strength.

Agent Name	BSSID	SSID	Type	Band	Channel	Signal	Quality	Last Modified
AGENT_TEST001_win11	C0:9F:51:2A:EC:B8	C09F512AECB9-2G	He 802.11ax	2.4 GHz	6	-64	72	2024/01/16 12:47:59
AGENT_TEST001_win11	52:57:9C:74:CC:65	DIRECT-kt-EPSON-EP-882A Series	Ht 802.11n	2.4 GHz	6	-67	66	2024/01/16 12:47:59
AGENT_TEST001_win11	C0:9F:51:2A:EC:BA	C09F512AECB9-5G	He 802.11ax	5 GHz	36	-68	64	2024/01/16 12:47:59
AGENT_TEST001_win11	58:C9:35:FF:C2:A4	HR01a-FFC2A4	He 802.11ax	2.4 GHz	5	-78	44	2024/01/16 12:47:59
AGENT_TEST001_win11	50:C4:DD:06:78:48	Buffalo-G-7848	Ht 802.11n	2.4 GHz	5	-75	50	2024/01/16 12:47:59
AGENT_TEST001_win11	08:10:86:26:0C:4C	aterm-aa10a7-g	Vht 802.11ac	2.4 GHz	6	-75	50	2024/01/16 12:47:59
AGENT TEST001 win11	D0:59:19:B1:DD:C0	F660A-DKXO-G	Ht 802.11n	2.4 GHz	1	-79	42	2024/01/16 12:47:59

無線インターフェースモニタリング(Widowsエージェント)

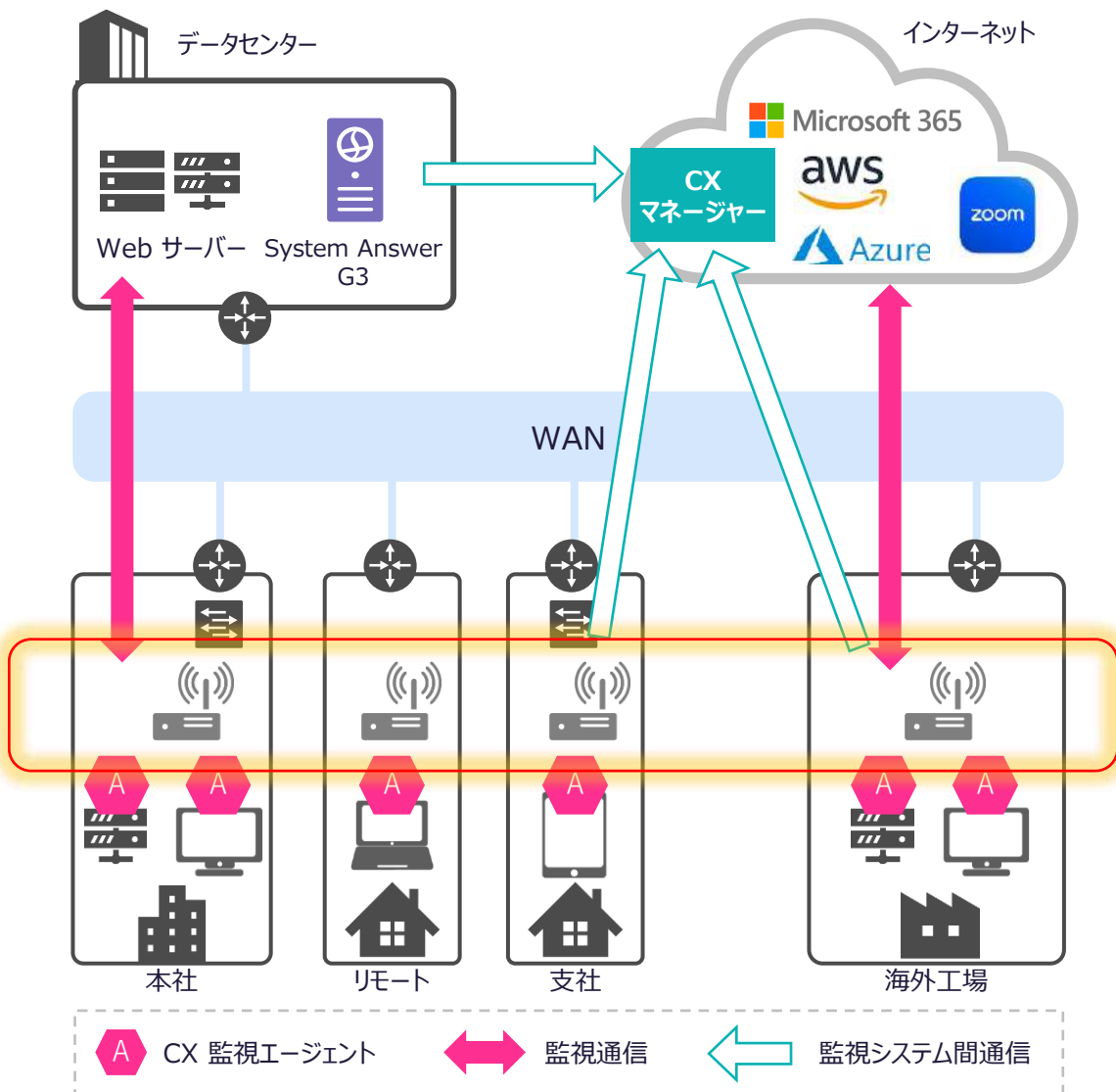
前出の画面にて各AgentNamesのアイコンをクリックすると、その情報をアップロードしたタイミングでの当該エージェントの無線インターフェース情報の表示も可能です。これにより、当該端末のDHCP払い出しIPの把握などが可能なので不調を訴えるユーザーのPCの洗い出しや、任意時間でのDHCP払い出しIPを調査することが出来ます。



The screenshot displays the CX Manager interface with the 'WIFI Bss' tab selected. A modal window titled 'Agent Interface List' is open, showing a table of network interfaces for three agents. The table includes columns for Interface ID, Name, Description, Status, Speed, Physical Address, and IP Address.

Interface	Name	Description	Status	Speed	Physical	IP
a21e235a-7eaf-46af-8ca1-e52f506b8b48	Wi-Fi	Intel(R) Wireless-AC 9462	Up	72200000	D0ABD5384AFF	240b:11:8c1:f500:e924:2181:9acc:e28
c2dddd88-45a9-4c21-9c5b-710d16609a56	ローカル エリア接続* 2	Microsoft Wi-Fi Direct Virtual Adapter #2	Down	-1	D2ABD5384AFF	fe80::a703:f3b0:2cb:b1f5%14,169.254
c511414b-57b0-4148-81cf-6db1c8b229c5	ローカル エリア接続* 1	Microsoft Wi-Fi Direct Virtual Adapter	Down	-1	D0ABD5384A00	fe80::5d81:5f3e:a383:a0f7%15,169.254

● 導入イメージ



導入目的

1

ユーザー視点のサービスレベルを把握し
顧客満足度の向上を図る

2

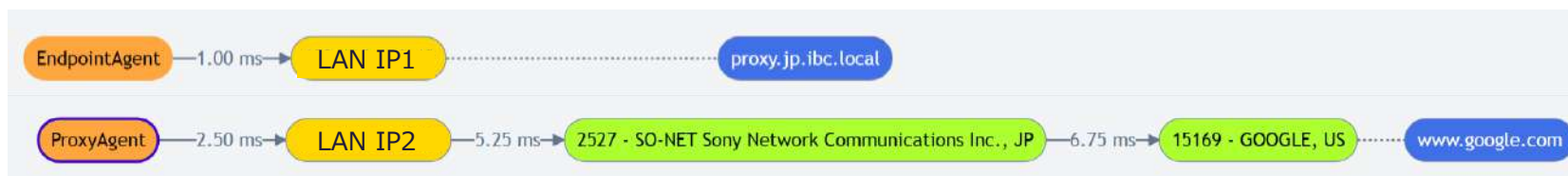
通信遅延の早期検知、迅速なボトルネック
特定を行いネットワーク品質向上を図る

3

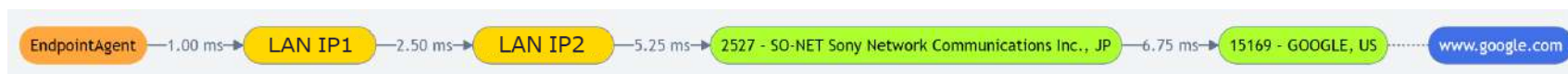
問題切り分けから復旧までの時間を短縮
し、TCO削減を図る

● CX監視オプション プロキシ連結表示機能

通常、ユーザー環境からインターネットまでの経路上にプロキシサーバーがある場合、tracerouteを用いてネットワーク経路を把握することはできませんが、今回2つのエージェントからのネットワーク経路を連結表示する機能をリリースしました。これにより、プロキシより外側にエージェントを配置し連結することで、プロキシ経由環境でも疑似的にネットワーク経路を表示できるようになります。



▲ 通常だと、プロキシを挟むと1行には表示されない



▲ 連結を実施すると、プロキシを介して取得したネットワーク経路を1行で表示される

Edit

Main Detail Agent

Protocol
tcp

Port
8080

Samples
3

Binding Proxy Agent
ProxyAgent

Update

▲ 連結する際は、ターゲットを指定する
Config画面にて「Binding」を選択する

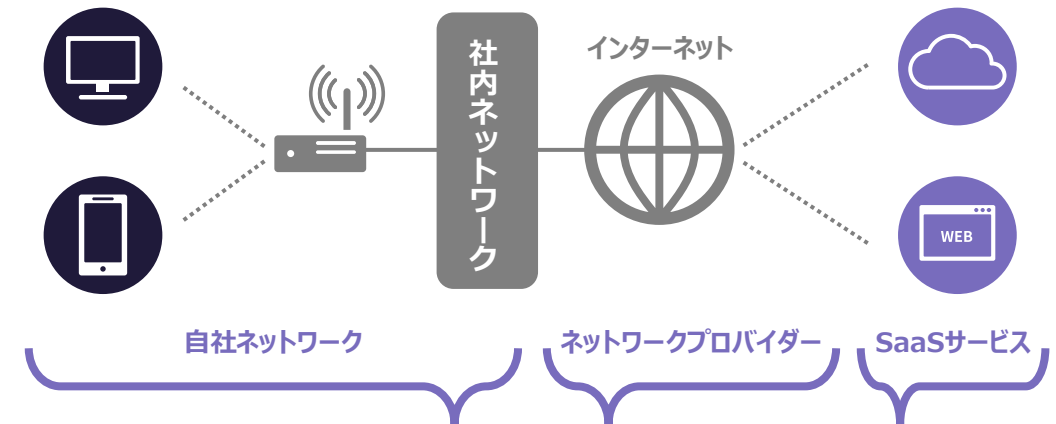
● 利活用シーン① ～情報システム部門様～

既存環境の構成変更・新システムの導入

システムに変更があった後にユーザーからレスポンス悪化の指摘をうけても、原因がどこにあるのかわからない。

＜よくある変更の例＞

- ・拠点、本社、データセンター等のネットワーク構成の変更
- ・人事異動によるユーザー構成の変更
- ・Web会議、グループウェア、ワークフローシステムの新規導入など



原因はどこ？



迅速な原因切り分けのために、システムの導入・変更前後や各ロケーション別での顧客体感値の比較が重要

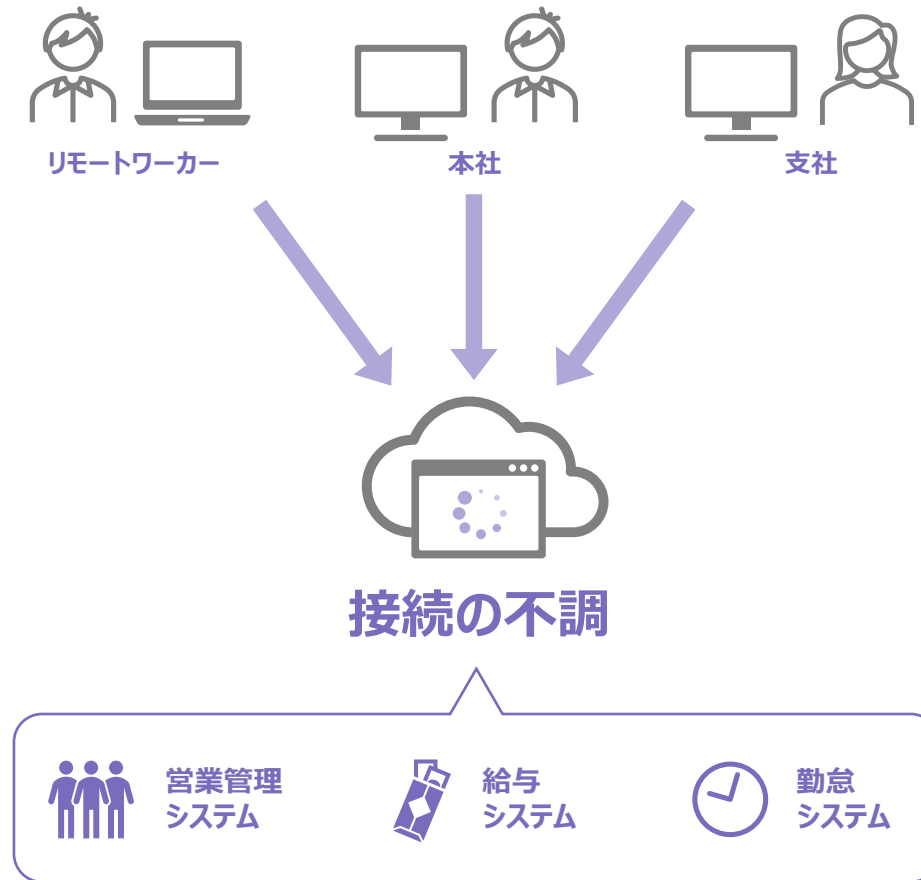
● 利活用シーン② ～情報システム部門様～

自社システムへのアクセス不調

自社のシステムへの接続が遅かったり接続できなかったりという不調が従業員から寄せられるが、原因が分からない。

- ＜自社サービスの例＞
- 経理・財務・経費精算システム
 - 勤怠・人事・給与システム
 - 営業管理システム
 - 製造計画システム
 - メールシステム
 - など

**サービス提供状態の継続的なモニタリングにて
第三者目線で遅延を可視化/切り分けの促進**

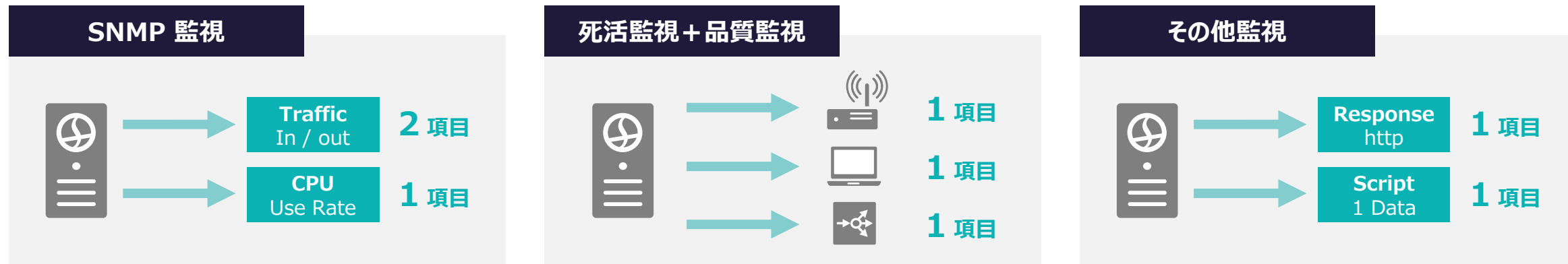


価格体系



● ライセンスの考え方

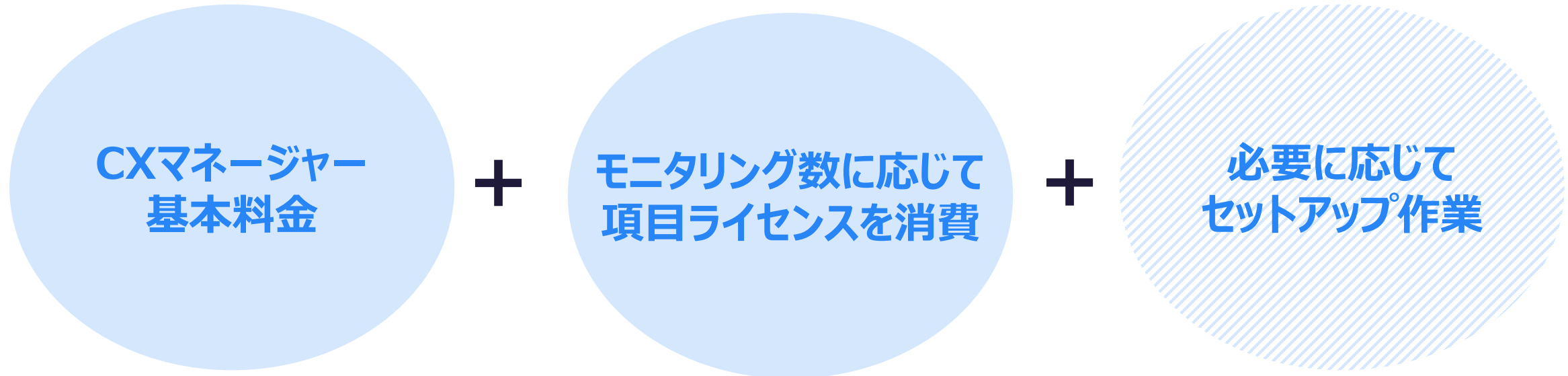
監視ノード数は無制限で監視が可能です。「**監視項目数**」にてライセンスをカウントします。
監視対象機器メーカーや取得項目内容によっても変化します。



弊社推奨項目で監視した場合の消費項目数目安

ルーター	24ポート スイッチ	48ポート スイッチ	FW	仮想ホスト VM	サーバーOS VM
 20 項目	 60 項目	 110 項目	 20 項目	 50 項目	 40 項目
<ul style="list-style-type: none"> ・トラフィック ・CPU 使用率 ・メモリー使用量 ・Ping 監視 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラフィック ・CPU 使用率 ・メモリー使用量 ・Ping 監視 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラフィック ・CPU 使用率 ・メモリー使用量 ・Ping 監視 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラフィック ・CPU 使用率 ・メモリー使用量 ・セッション数 ・Ping 監視 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラフィック ・CPU 使用率 ・メモリー使用量 ・データストア使用量 ・Ping 監視 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラフィック ・CPU 使用率 ・メモリー使用量 ・DISK使用量 ・Ping 監視 など

● CX監視オプションの費用体系



- CXマネージャー基本料金を購入いただくと、顧客専用のマネージャー環境が払い出されます。G3と連携後、テストを登録すると連携したG3の項目数を消費します。
- System Answer G3 を既に利用している場合、項目数ライセンスに余りがあればCXマネージャー基本料金を追加頂ければ利用開始できます。
- 連携するSystem Answer G3 のモデルは問いません。（インターネット疎通出来ることが条件です）
IBC環境とVPN接続をする必要はありません。

● 参考：必要監視項目の算出方法

■ 監視項目数は以下の要素より算出可能です。

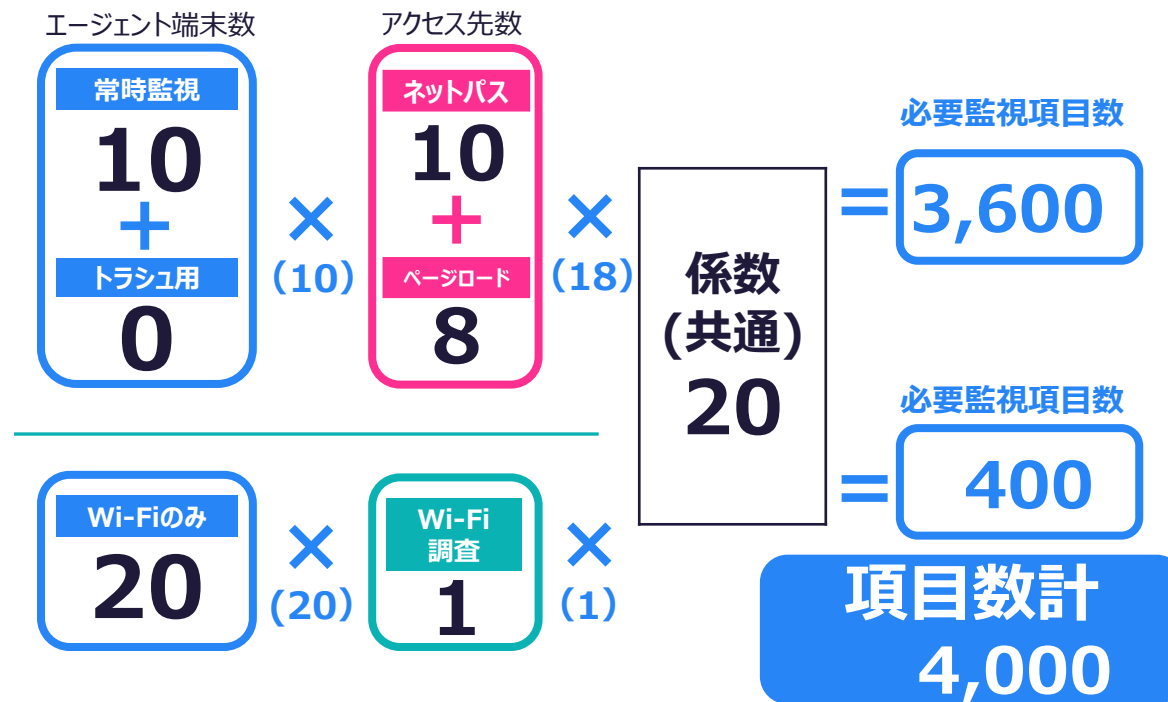
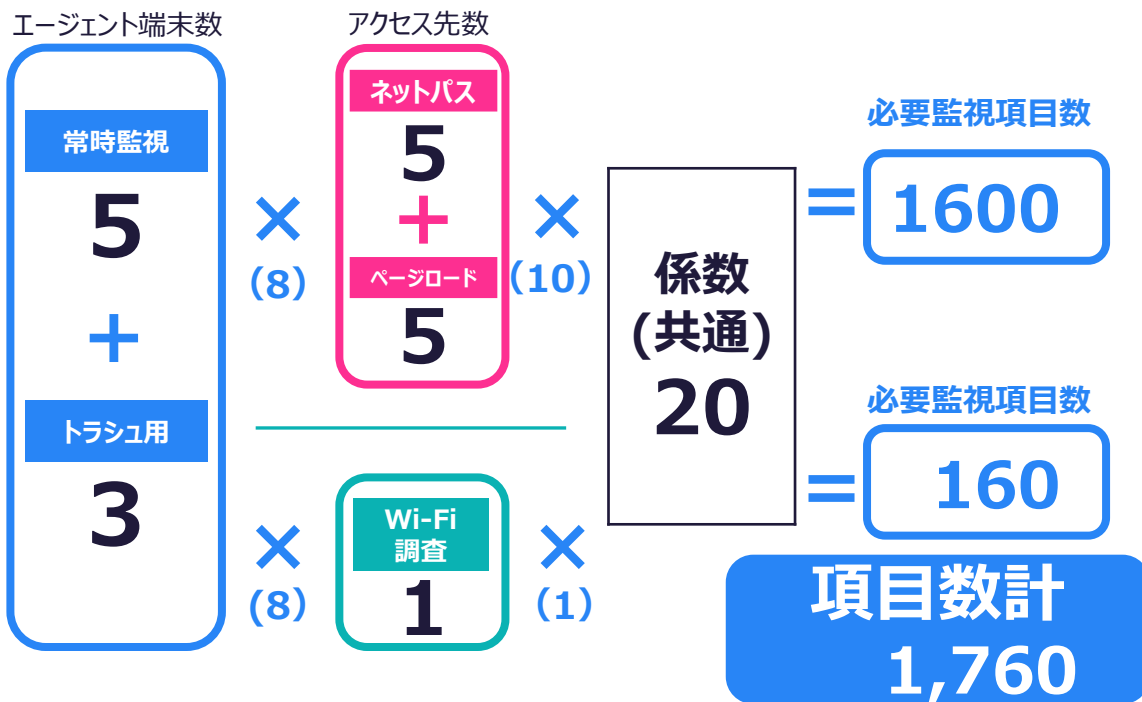
→ 下記Monitoring数(対象端末/環境数&設定数)をヒアリング後、必要監視項目を算出いたします。



● 参考：パターン別 CX監視オプション見積イメージ

パターンA 社内 IT 部門の場合	
常時監視	→ 全国にある拠点数 等 : 5
トラッシュ利用	→ 障害発生拠点のフロア数 等 : 3
アクセス先	→ 自社で利用中のSaaS数 等 : 5
ページロード	→ " : 5
Wi-Fi調査	→ 対象エージェント数 : 8

パターンB Webサービス事業部門の場合	
常時監視	→ 提供ユーザー数 等 : 10
トラッシュ利用	→ なし : 0
アクセス先	→ 提供Webサービス数 等 : 10
ページロード	→ " : 8
Wi-Fi調査	→ 対象エージェント数 : 20



No.	品名	ライセンス標準価格 (年額)	API オプション (年額)	将来予測オプション (年額)
1	G3 ライセンス 2,000 項目	594,000	118,800	118,800
2	G3 ライセンス 5,000 項目	1,237,500	247,500	247,500
3	G3 ライセンス 10,000 項目	1,650,000	330,000	330,000
4	G3 ライセンス 15,000 項目	2,640,000	528,000	528,000
5	G3 ライセンス 20,000 項目	2,970,000	594,000	594,000
6	G3 ライセンス 25,000 項目	3,960,000	792,000	792,000
7	G3 ライセンス 30,000 項目	4,290,000	858,000	858,000
8	G3 ライセンス 35,000 項目	5,280,000	1,056,000	1,056,000
9	G3 ライセンス 40,000 項目	5,610,000	1,122,000	1,122,000
10	G3 ライセンス 45,000 項目	6,600,000	1,320,000	1,320,000
11	G3 ライセンス 50,000 項目	6,930,000	1,386,000	1,386,000

■ ライセンス費用について
監視対象となる監視項目数に応じたライセンスが必要となります。
ライセンスには製品使用权ならびにサポートサービス、およびバージョンアップファイルの提供が含まれます。

■ サポートサービスについて
電話および E-mail による使用方法についての問い合わせ
受付対応時間：9:00～12:00 / 13:00～17:00（土・日・祝祭日、年末年始、弊社が定める休日を除く）

■ 各種サービス
ライセンスに含まれるサポートサービス以外のインストール作業等の技術サービスは有償です。

■ 項目数の追加
ライセンス期間中の項目数追加は、現ライセンス価格と追加後のライセンス価格の差分から、現ライセンス残期間の分を乗算した価格となります。

例) 10,000 項目 から 25,000 項目 へのアップグレードで、ライセンスが残 6 ヶ月の場合
 $(3,960,000 \div 12) - (1,650,000 \div 12) = 192,500$
 $192,500 \times 6 = 1,155,000$

■ 監視項目数カウント方法
SNMP 監視：取得 OID 数
VMware 監視：取得カウンター数
死活監視：対象ノード数
その他：取得データ数

■ 50,000 項目以上のライセンス体系や金額については別途お問い合わせ下さい。

■ API オプションを利用する際には、別途ライセンス費用の 20 % が必要となります。

■ 将来予測オプションを利用する際には、別途ライセンス費用の 20 % が必要となります。

本価格表に記載の金額には消費税は含まれておりません。
本価格表に記載の内容および価格は予告なく変更することがございますのでご了承下さい。

No.	品名	標準価格 (年額)
1	System Answer G3 CX監視オプション 年間ライセンス (Basic)	2,400,000
2	System Answer G3 CX監視オプション 年間ライセンス (Large)	3,600,000

本価格表に記載の金額には消費税は含まれておりません。
本価格表に記載の内容および価格は予告なく変更することがございますのでご了承下さい。

仕様	Basic	Large
推奨モニタリング数	100	200
最大データ保存容量	500 GB	850 GB
消費監視項目数	20 項目 / モニタリング数	
バックアップ	30 日間	

■ CX 監視オプションについて
CX 監視オプションは以下のサービスを提供する System Answer G3 のオプション製品です。

- ・CX マネージャー
- ・CX エージェント

- CX マネージャーについて

CX マネージャーは IBC のクラウド基盤で提供される SaaS 型サービスです。
System Answer G3 との通信が必須となります。

CX エージェントを使用したモニタリング数に応じて、System Answer G3 の監視項目数を消費します。

- CX エージェントについて

CX エージェントは CX マネージャーから提供される NetworkPath 監視ソフトウェアです。
CX マネージャーとの通信が必須となります。

■ サポートサービスについて

本ライセンスには以下のサポートサービスが含まれます。

- ・電話および E-mail による使用方法についての問い合わせ
受付対応時間：9:00～12:00 / 13:00～17:00
(土・日・祝祭日、年末年始、弊社が定める休日を除く)
- ・CX マネージャーバージョンアップ並びに CX エージェントバージョンアップモジュールの提供

■ 本価格には System Answer G3 本体のライセンス費用は含まれておりません。
別途購入が必要となります。

■ 本機能のご利用にあたっては System Answer G3 のインターネット接続が必須となります。

■ データ保存期間はお客様のご利用状況によって変動します。(デフォルト 50 日間保存)

■ ご利用開始日は納品後翌月 1 日とし、お申込はご利用開始日の 10 営業日前までに必要となります。

■ モニタリング数 200 以上の監視をおこなう場合、別途ご相談ください。

お問い合わせ窓口

本社

〒 104-0033
東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル 8F
TEL : 03-5117-2780 FAX : 03-5117-2781

西日本事業所

〒 532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル3F
TEL : 06-7653-1014 FAX : 06-7177-0542

URL

コーポレートサイト → <https://www.ibc21.co.jp/>
ソリューションサイト → <https://system-answer.com/>